

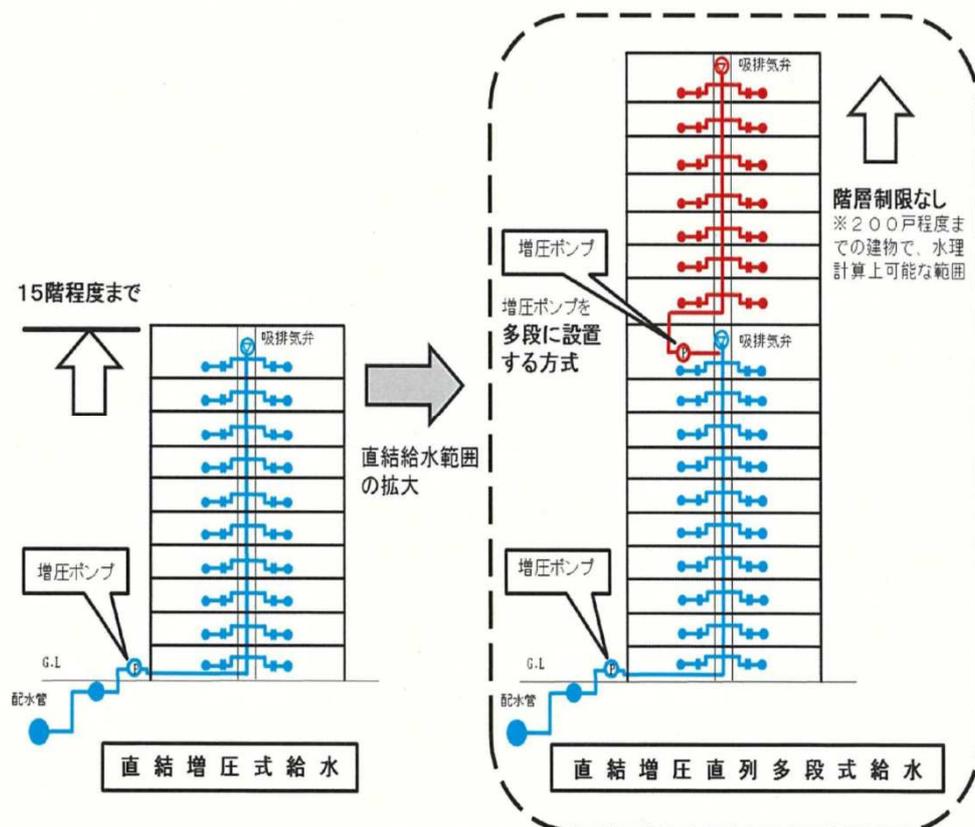
給水装置工事における直結増圧直列多段式給水の採用 受水槽の設置基準

大阪市水道局の給水装置工事設計施行基準（令和元年9月）から、以下の2点について紹介します。

① 給水装置工事における直結増圧直列多段式給水の採用について

水道水の安定供給を図りつつ直結給水の範囲を拡大することにより、貯水槽水道の不十分な管理に起因する衛生問題の解消、省エネルギー化の推進及び設置スペースの有効利用などを図り、需要者のサービス向上に寄与することを目的として、給水方式の選択肢を増やすことになりました。

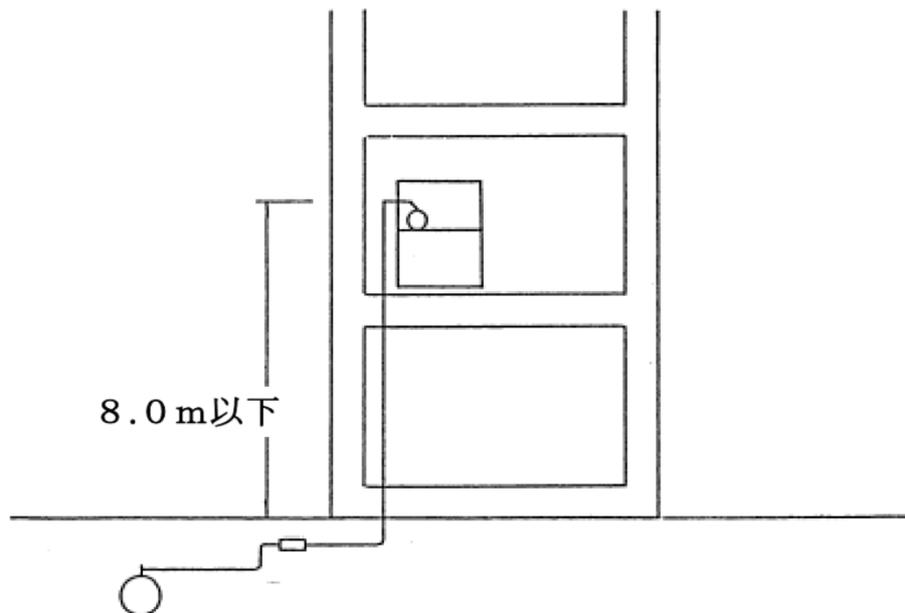
直結増圧直列多段式給水は、今まで15階程度の建物でしか使用できない直結増圧式給水の拡大を図るため、増圧装置を直列に設置することにより、水理計算上可能な高さまでの建物に対して、直結給水を可能にすることを目的とする。



適用条件や、増圧装置の選定条件・選定計算例などは、同基準を参照下さい。

② 受水槽の設置基準

受水槽は1階又は地階に設置することとし、これによりがたいときには、下図のとおり、その給水高さの範囲を地上8m以下とする。



受水槽設置が可能な給水高さ

参 考

大阪市水道局 給水装置工事設計施行基準（令和元年9月）

<https://www.city.osaka.lg.jp/suido/page/0000423986.html>